

ビッグスロットルボディーキット 取扱説明書

製品番号 03-05-0168 (スーパーヘッド 4V+R 用)

適用車種	スーパーカブ 110 (JA59-1000001 ~)
	クロスカブ 110 (JA60-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適用車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

◎キット内のエアクリーナーコネクティングチューブとノーマルエアクリーナーケース間の気密を確保する為に、樹脂やゴムに対応した接着剤が必要となる場合があります。(弊社推奨品 コニシ :G17 相当品)

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎再使用する部品に関し、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

◎当製品はクロード競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、適法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

◎当製品を使用するには車種専用の FI コン TYPE-X が別途必要です。

すでに FI コン TYPE-X をお持ちの場合は、弊社ホームページ上にあるビッグスロットルボディ対応のプリセットデータをダウンロードし、ご使用下さい。(右記二次元コード読み込みにて、ダウンロードページを開く事が出来ます。)



注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

■エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、ケガ、火傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。(火災、爆発等につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

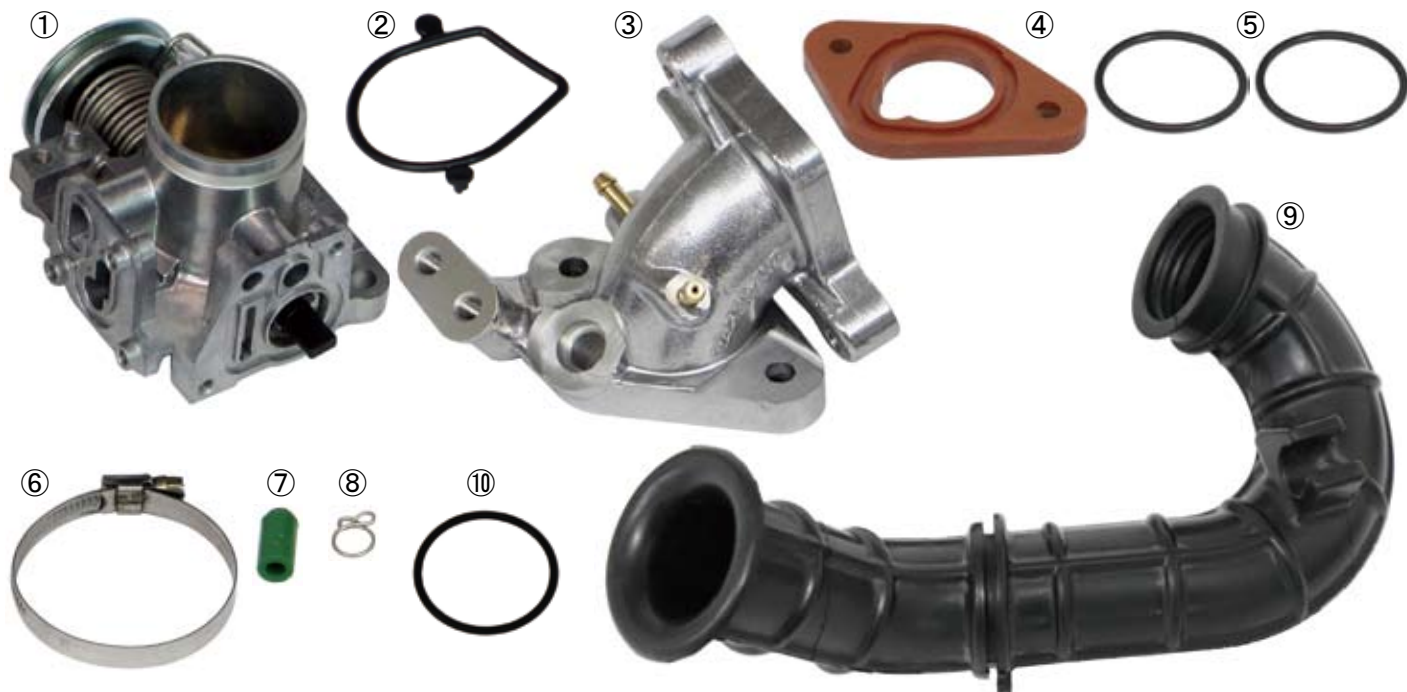
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ビッグスロットルボディー	1	
2	ラバーパッキン	1	00-03-0438
3	インレットパイプ COMP.	1	
4	インシュレーター	1	00-03-0337 (⑤ O リング 2 ケ付)
5	O リング 35mm	2	00-03-0008
6	バンド (30-45/9)	1	00-00-0050
7	キャップ 4x7x12	1	00-03-0011
8	チューブクリップ	1	00-00-2460 (5 ケ入り)
9	エアクリーナーコネクティングチューブ	1	00-03-0001
10	O リング 32mm	1	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は
セット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合が
あります。使用につきましては問題ございません。
予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◎車種専用の弊社製 FI コン TYPE-X と必要に応じてフューエルインジェクタを別途用意し、同時装着して下さい。

・ FI コン TYPE-X: 05-04-0127

・ フューエルインジェクタ (G-1): 00-00-0487

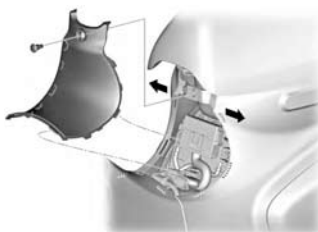
※ FI コン TYPE-X やその他のエンジン部品と同時に取り付け作業を行う際は作業が重複する箇所もありますので各キットの取扱説明書の
内容をよく確認した上で作業を行って下さい。

●外装部品の取り外し

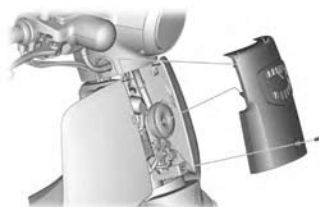
○純正サービスマニュアルを参照し、以下を取り外す。

●スーパーカブ 110 の場合

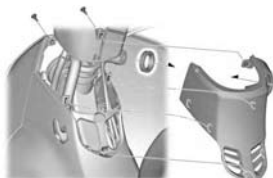
センタカバー



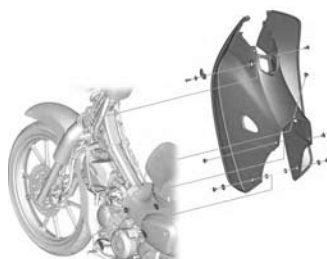
フロントカバー



メインスイッチカバー

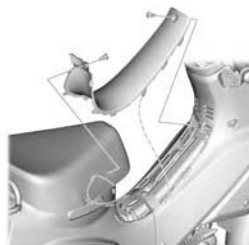


レッグシールド

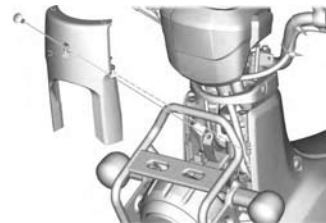


●クロスカブ 110 の場合

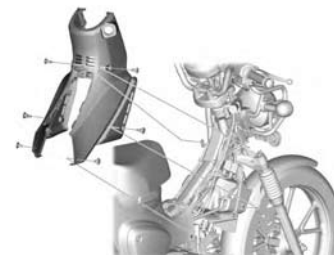
メインパイプセンタカバー



フロントカバー

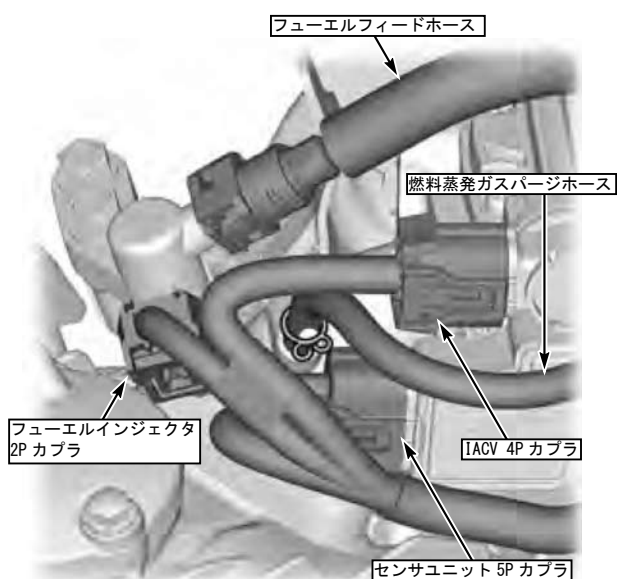


メインパイプカバー

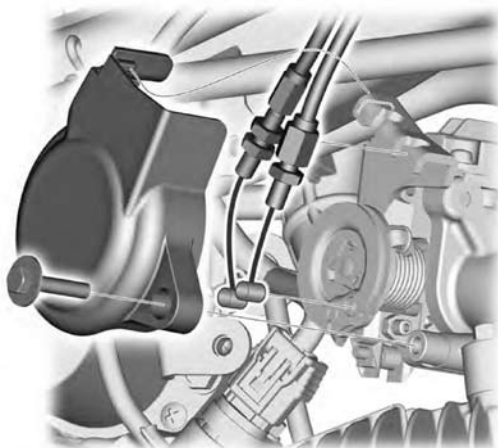


●取り外し

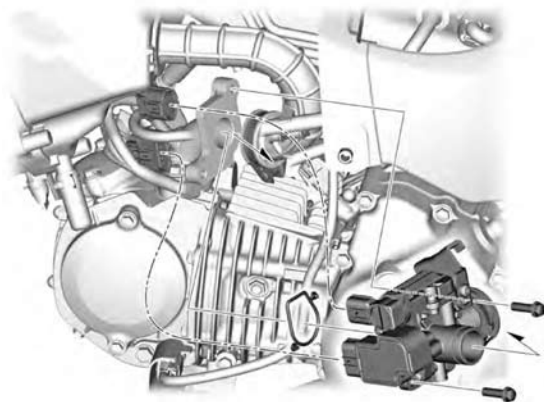
○スロットルボディからフューエルインジェクタ 2P カブラ、IACV 4P カブラ、センサユニット 5P カブラを外す。インレットパイプ COMP. から燃料蒸発ガスパージホース、フューエルフィードホースを外す。



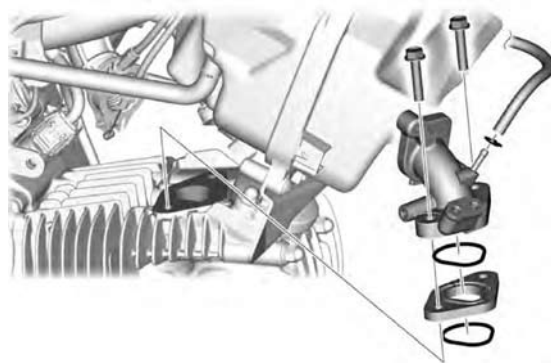
○スロットルボディからスロットルカバーを外し、スロットルワイヤーを外す。



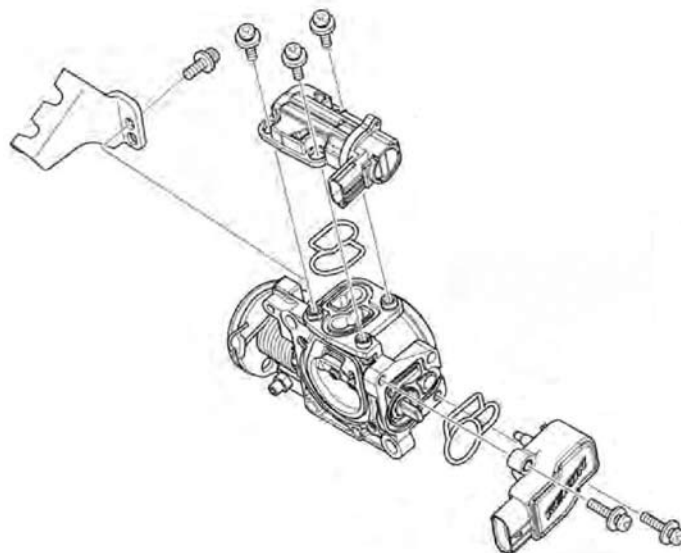
○エアクリーナーコネクティングチューブバンドを緩めてスロットルボディ ASSY. と Oリングをインレットパイプ COMP. から外す。



○インレットパイプ COMP. をエンジンから外し、インテークパイプインシュレーターと Oリングを外す。
インレットパイプ COMP. からインジェクタージョイント COMP. とフューエルインジェクター ASSY. を外す。



○スロットルボディ ASSY. からワイヤーステー、センサーセット、アイドルエアークontrolバルブセット、各 Oリングとボルトを外す。
○エアクリーナーケースサブ ASSY. から接着を外し、エアクリーナーコネクティングチューブを取り外す。



●取り付け

○ノーマルスロットルボディ ASSY. より取り外したワイヤーステー、センサーセット、アイドルエアーコントロールバルブセット、各 O リングとボルトを①ビッグスロットルボディへ付け替える。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

各スクリーワッシャ（センサーセット、バルブセット）

トルク：2.1N・m (0.21kgf・m)

スクリーワッシャ（ワイヤーステー）

トルク：5.1N・m (0.51kgf・m)

○③インレットパイプ COMP. にノーマルインレットパイプ COMP. から外したフューエルインジェクタ ASSY. とインジェクタージョイント COMP. を取り付ける。

この際にフューエルインジェクタ (G-1) を用意している場合は、フューエルインジェクタ ASSY. の O リングをフューエルインジェクタ (G-1) に付け替えて取り付けを行う。

” TAKEGAWA ” ロゴから遠いユニオンへ⑦キャップ 4x7x12 と⑧チューブクリップを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト（インジェクタジョイント COMP. 部分）

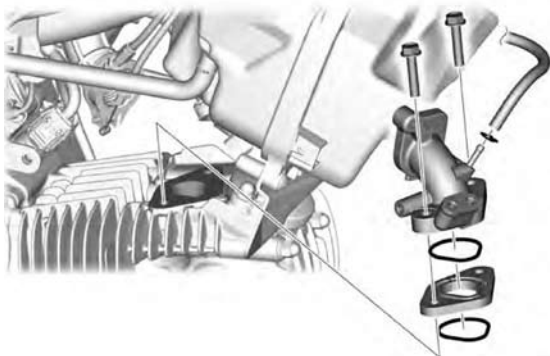
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

○④インシュレーターの表裏両方に⑤ O リング 35mm を取り付け、エンジンポート形状に合うように④インシュレーターを取り付け面へ合わせる。同様に各部品を取り付けた③インレットパイプ COMP. を形状に合わせて④インシュレーターと共にノーマルインレットパイプ COMP. を固定していたボルトで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



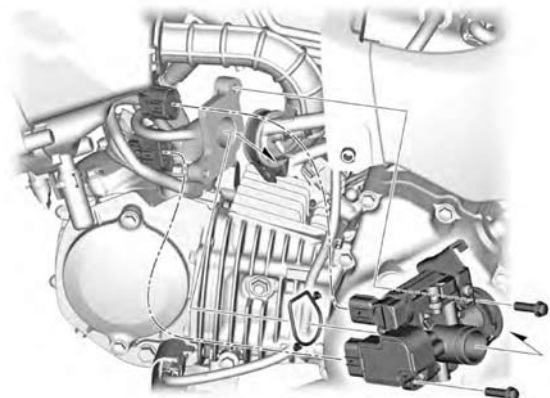
○③インレットパイプ COMP. の空きユニオンへ燃料蒸発ガスパージホースを取り付ける。

○③インレットパイプ COMP. へ②ラバーパッキンを使用して各センサー類を取り付けた①ビッグスロットルボディをノーマルスロットルボディ ASSY. を固定していたボルトで締め付ける。

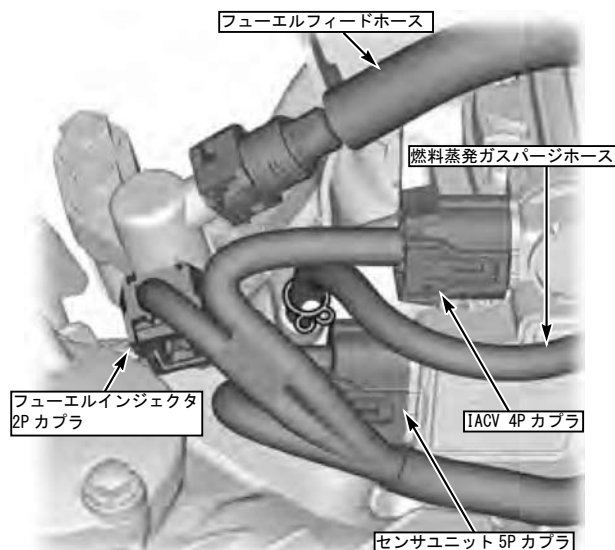
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○①ビッグスロットルボディへフューエルインジェクタ 2P カプラ、IACV4P カプラ、センサユニット 5P カプラを取り付ける。③インレットパイプ COMP. へフューエルフィードホースを取り付ける。

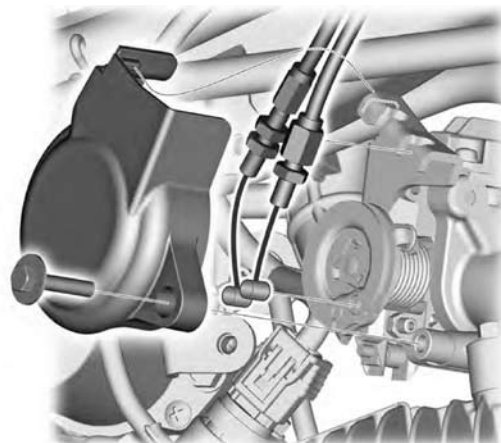


○①ビッグスロットルボディのワイヤーステーにスロットルワイヤーを取り付けて適切なワイヤーの遊びを確保してナットを締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ナット

トルク：5.0N・m (0.50kgf・m)



○スロットルカバーを取り付けてノーマル同様に固定ボルトで取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：5.2N・m (0.52kgf・m)

○⑨エアクリーナーコネクティングチューブの約 3mm 幅溝部に⑩ O リング 32mm を取り付け、車体のエアクリーナーケースサブ ASSY. へ取り付ける。○⑨エアクリーナーコネクティングチューブに⑥バンド (30-45/9) を取り付け、①ビッグスロットルボディと接続し締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

バンド (30-45/9)

トルク：2.1N・m (0.21kgf・m)

○⑨エアクリーナーコネクティングチューブのホース用クランプがスロットルカバーに干渉する場合があります。その際は、ホース用クランプの一部を切断して下さい。

●エアクリーナーコネクティングチューブの気密

○エアクリーナーケースサブ ASSY. と⑨エアクリーナーコネクティングチューブ間の気密を確保する為に⑨エアクリーナーコネクティングチューブをエアクリーナーケースサブ ASSY. の接続部で接着剤を使用して固定する事をお勧めします。

推奨接着剤

コニシ：G17 相当品

●アイドリング回転数の調整

○各部の接続を確認してからエンジンを始動して回転数を確認します。

基準アイドリング回転数から外れている場合はアジャストスクリューを調整して下さい。

調整時はアジャストスクリューを固定しているナットを緩め、調整後は必ずナット締め付けて調整値が変わらない様にアジャストスクリューを固定して下さい。

- ・回転数が低い場合
→アジャストスクリューを締めこむ
- ・回転数が高い場合
→アジャストスクリューを緩める

基準アイドリング回転数

1400rpm ± 100rpm

⚠ 警告：エンジン始動時は必ず換気の良い場所で行う事。

●スロットルポジションの同調

○FI コンTYPE-Xの取扱説明書に従い、スロットルポジションの調整・補正を行う。

⚠ 警告：必ず調整・補正を行う事。

●外装の取り付け

○当製品取り付けの為に外した外装部品を取り付ける。

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDF データーでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

